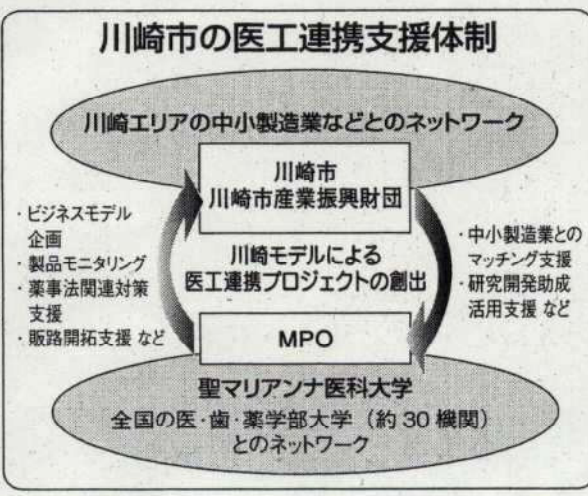


# 川崎市 新事業の創出支援拡充

## ライフサイエンス分野 MPOと連携

【横浜】川崎市はMPO（川崎市宮前区、木苗貴秀社長、044・979・1631）と連携し、ライフサイエンス分野の新事業創出支援体制の拡充に乗り出した。従来の医療分野における中小製造業とのマッチング支援に、聖マリアンナ医科大学が設立した技術移転機関（TLO）であるMPOの大学・企業ネットワークを活用した研究開発、販路開拓などを加え、事業化まで一貫して支援するのが目的。これにより新事業創出支援の「川崎モデル」を構築する。

川崎市はこれまで、「医」支援組織「医工連携研究会」を通じて、医療分野の「かわさきライフサイエンス分野の産業振興事業」や川崎市産業振興財団主催による市内中小製造業の医療機器業界参入



知見を持つMPOと連携する。MPOはライフサイエンス分野に特化して技術シーズと市場ニーズに応じたビジネスモデルの企

【2013年1月9日 日刊工業新聞】

画立案と事業化を継続的に支援している。また、2010-12年度に経済産業省の「創造的産学連携体制整備事業」を活用し、全国の医・歯・薬学部がある大学やTLOなど約30機関や医療機器・医薬品メーカーなどとネットワークを構築、豊富なシーズ・ニーズ情報を蓄積している。

川崎市と財団が行う中小製造業とのマッチング、研究開発助成活用、専門家のアドバイス支援、MPOが行うシーズ・ニーズの提供、ビジネスモデル企画、市場調査、製品モニタリング、薬事法関連対策、販路開拓支援をそれぞれ共有して支援体制を強化する。市内企業とネットワークを構築する財団のコーディネーターが中心となり、豊富な技術シーズ、市場、医療現場のニーズをマッチングすることで中小製造業の医療分野でのビジネス展開を促進する。